



【取材案内】鶴工パワー×国連認定アーティストが夢のコラボ！ 「平和と環境」の未来共創プロジェクト、6/29（月）キックオフ会議開催

山形県立鶴岡工業高等学校（校長：齋藤秀志、生徒数：459名）は、「鶴工パワーで動かす「平和と環境」の未来共創プロジェクト」を始動いたします。

本プロジェクトの本格スタートに伴い、6月29日（月）15:40より、国連「平和の文化」シンボルアーティストのサイヒロコ氏をお招きし、本校にてキックオフ会議を開催いたします。

当日は生徒とサイ氏が一堂に会し、今後の活動に向けた共同ミーティングを行います。

本校の特色ある学びと地域・世界を繋ぐ挑戦の第一歩を、ぜひ取材くださいますようお願い申し上げます。

1 キックオフ会議 開催概要

- ・日 時：2026年6月29日（月） 15:40～
- ・場 所：山形県立鶴岡工業高等学校
- ・出席者：サイヒロコ氏、本校生徒（生徒会・吹奏楽部・有志中心）、教職員 ほか
- ・内 容：「平和・環境・サステナブル」をテーマにした今後の巨大アート制作や世界発信PV等の事業展開に向けた初の共同ミーティング。

2 プロジェクト概要（全体像）

本プロジェクトは、昨年度の前身から数えて創立130周年記念「鶴工シルクプロジェクト」の精神を受け継ぐ派生プロジェクトです。平和宣言都市15周年の鶴岡市の歴史や伝統ある絹産業（松ヶ岡開墾場）をSDGs視点で再定義し、持続可能な地域づくりを目指します。

【活動の2つの柱】

（1）環境共創アートイベント

松ヶ岡開墾場を舞台にサイ氏が環境アートを実演。実演中は本校吹奏楽部（日本管楽合奏コンテスト最優秀賞）が生演奏を披露。完成披露会では来場者の署名による参加型アートを創ります。

（2）アントレプレナーシップによる価値創出

校歌の新編曲をのせた「平和と環境のメッセージPV」を制作し世界配信（国連等への紹介も視野）。また、共創アートを起点とした商品化や地域ブランド化を生徒自らが立案予定。

3 年間スケジュール（予定）：各事業の詳細は、随時改めてプレスリリースいたします。

- ・6月29日（月）：キックオフ会議（★今回の取材対象）
- ・10月下旬予定：シルクに刻む「平和と環境」のアート制作収録会
- ・11月1日（日）：シルク巨大アート完成披露会（第61回定期演奏会【特別企画】）
- ・11月下旬予定：「平和と環境のメッセージPV」公開


※本事業は、山形県「魅力ある県立高校づくり推進事業フューチャープロジェクト」及び公益信託荘内銀行ふるさと創造基金助成事業の一環として実施します。

Sai Hiroko

Profile [プロフィール]

色、光、音、映像などを駆使して、
人間の五感を開く環境アートを、
世界の都市・建築・ランドスケープで展開。

- ・(仏)科学芸術創造協会 代表
- ・国連「平和の文化」シンボル SAI環境四次元ミュージアム
- ・仏世界文化遺産ルドゥ「理想都市」内 文化省指定個人美術館(1995~2005)
- ・仏国立ポンピドーセンター滞在個展(1985)
- ・EU文化交流センター議長
- ・東京湾アクアライン景観委員モニュメント、壁画制作
- ・成田飛行場 第一ターミナル環境四次元ミュージアム
- ・インドネシア ロイヤルシルク財団 顧問
- ・山形大学客員教授



Sai Hiroko

主な活動

- ・仏ポンピドーセンター滞在制作・招待個展。
- ・国連ユネスコ50周年招待個展「21世紀を拓くメッセージアート展」。
- ・仏世界文化遺産ラ・サリーヌ・ロイヤル招待個展、世界初の世界文化遺産内個人美術館制作。
- ・仏国家プロジェクト「世界性の連帯」メッセージアート制作。
- ・国連ESCAP本部内に「平和の文化」シンボルアート永久展示。メッセージアート制作。
- ・各国文化省参加の文化オリンピック「カルタゴ・インターナショナル・フェスティバル」メインアーティスト。
- ・ノーベル平和賞100周年記念授賞式典環境アート制作。
- ・愛知万博「愛・地球博」環境アート制作、アートアワード・イベントオーガナイズ。
- ・東京湾アクアライン「海ほたる」環境モニュメント、壁画制作。
- ・横浜ランドマークタワー 環境アート「誘惑」制作。
- ・仏芸術院賞(アカデミー・デ・ボザール賞)、国際文化芸術賞、世界賞、他受賞。
- ・EU文化交流センター理事会議長、フロリダ州コーラル・ゲーブルズ市名誉市民、日本国建設省景観委員、NHK・JR東日本全社プロジェクトアドバイザー、他歴任。
- ・関東地方建設局50周年、他、国・県・市・企業で、基調講演多数。